

令和6年度の県図書館協会の活動を振り返って

本年度は新型コロナも落ち着きを見せ、正常な日常が戻ってきました。一方で、鹿児島県では、人口減少と労働力不足が加速し、地方財源の先細りなどにより、図書館を取り巻く社会・経済的環境は、厳しさを増しているように思われます。

そのような中でしたが、本県図書館協会では、県内各地の公共図書館と協力して、精力的な取組を行ってきました。主な取組は以下のとおりです。

- ・ 総会と研修会開催（5/10 県立図書館：令和5年度事業報告及び決算報告、令和6年度事業計画及び予算案承認）
- ・ 親子読書研修会（共催 6/30 カクイックス交流センター：取組発表、講演会）
- ・ 鹿児島県高校生ビブリオバトル大会（後援 8/18 鹿児島県教育委員会）
- ・ 読書の魅力を伝える活動推進研修会（共催 8/22 鹿児島支部 鹿児島市、9/4 熊毛支部 西之表市）

両会場共に多くの参加者があり、熱気に溢れる内容となりました。

- ・ 公立図書館（室）長及び業務担当者会（10/7 錦江町）
大隅支部のご尽力により開催され、「綾てるは図書館」（宮崎県綾町）の中村清久館長による講演を含めて、有意義な開催となりました。
- ・ 鹿児島県図書館大会（共催 11/13 カクイックス交流センター）
「新しい時代の図書館」をテーマにして3年目の開催となり、594名の参加者がありました。基調提案と読書活動に貢献された団体個人の表彰に続き、筑波大学准教授 池内淳氏に「本と読書と図書館の現在と未来」の演題でご講演いただきました。その後6つの分科会において、創意と工夫に富んだ事例報告が行われ、昼食を挟んで活発な意見交換が行われました。
- ・ 「毎月23日はこどもといっしょに読書の日」ポスター原画審査会
- ・ 先進地視察研修（11/28, 11/29 福岡市総合図書館、不知火図書館：長島町教育委員会から1名派遣）
- ・ 全国図書館大会派遣（11/30, 12/1 長崎市：西之表市立図書館から1名派遣）

本年度の活動全体を俯瞰すると、利用者の心に響くのは、図書館員の心配りや図書に対する深い思いを表現した取組や接客であったと思います。これからも、デジタルによる利便性や効率性の向上を目指すと共に、利用者の思いに寄り添ったアナログな取組によって、公共図書館は魅力的存在であり続けるであろうと確信しました。

最後になりましたが、県内公共図書館のご尽力に感謝すると共に、県民の皆様による図書館利用の拡大と、県内各館の益々のご発展並びに職員の皆さまのご健勝を、心より祈念いたします。

令和7年3月

鹿児島県図書館協会副会長 井上佳朗（鹿児島市立図書館長）